
PRTG Network Monitor
ティーピーリンク TL-ER7206
監視手順書

Rev.1.0

2022.05.19

目次	
1	はじめに..... 1
1.1	本資料について..... 1
1.2	本資料で監視する内容..... 1
2	本資料が想定する構成..... 1
3	手順..... 2
3.1	TL-ER7206 で SNMP を有効化..... 2
3.2	PRTG での設定..... 2
3.2.1	デバイス(監視対象)として TL-ER7206 を追加..... 2
3.2.2	「SNMP デバイスの資格情報」の設定..... 4
3.2.3	センサー(定義済み監視監視項目)の自動検出..... 5
3.2.4	自動検出で追加されたセンサー例..... 6
	HTTPS センサー..... 7
	SNMP Linux の負荷平均センサー..... 7
	SNMP Linux のメモリ情報センサー..... 8
	Ping センサー..... 8
	SNMP CPU の負荷センサー..... 9
	SNMP ディスク空き容量センサー..... 9
	SNMP メモリセンサー..... 10
	SNMP トラフィックセンサー..... 10
	SNMP システムアップタイムセンサー..... 11
4	まとめ..... 11
5	免責事項・使用限定事項..... 12

変更履歴

版	発行日	変更内容
Rev. 1.0	2022/05/19	初版作成

1 はじめに

1.1 本資料について

本資料ではネットワーク監視ソフトウェア「PRTG Network Monitor」(以降 PRTG と略記)を使用して、ティーピーリンク製 SafeStream ギガビット マルチ WAN VPN ルーター「TL-ER7206」を監視する手順を紹介します。

※掲載されている商品またはサービスの名称等は、各社の商標または登録商標です。

1.2 本資料で監視する内容

PRTGは定義済みの監視機能を「センサー」として標準搭載しており、専門的な知識不要で適切な監視ができます。また、必要なセンサーを自動検出してかんたんに監視ができます。本資料では PRTG のセンサーを自動検出し、ティーピーリンク「TL-ER7206」を監視する方法と監視内容を説明します。

2 本資料が想定する構成

本資料では次の構成を想定しています。

- ・ PRTG はインストール済み
- ・ TL-ER7206 はネットワークに接続済み
- ・ PRTG と TL-ER7206 の管理 IP アドレスが通信できる

また、検証時は以下のバージョンを使用しました。

ティーピーリンク TL-ER7206

Hardware Version:ER7206 v1.0

Firmware Version:1.1.1 Build 20210723 Rel.64359

PRTG Network Monitor

v22.1.75.1594

3 手順

ここから PRTG で TL-ER7206 を監視する手順を説明します。

3.1 TL-ER7206 で SNMP を有効化

PRTG で TL-ER7206 を監視するために TL-ER7206 で SNMP を有効化します。使用する SNMP のバージョンは v2c とします。

TL-ER7206 の Web GUI にログインし、[System Tools]タブ | SNMP へ移動
図の内容で設定※本資料では SNMP コミュニティ名を「public」で設定します。

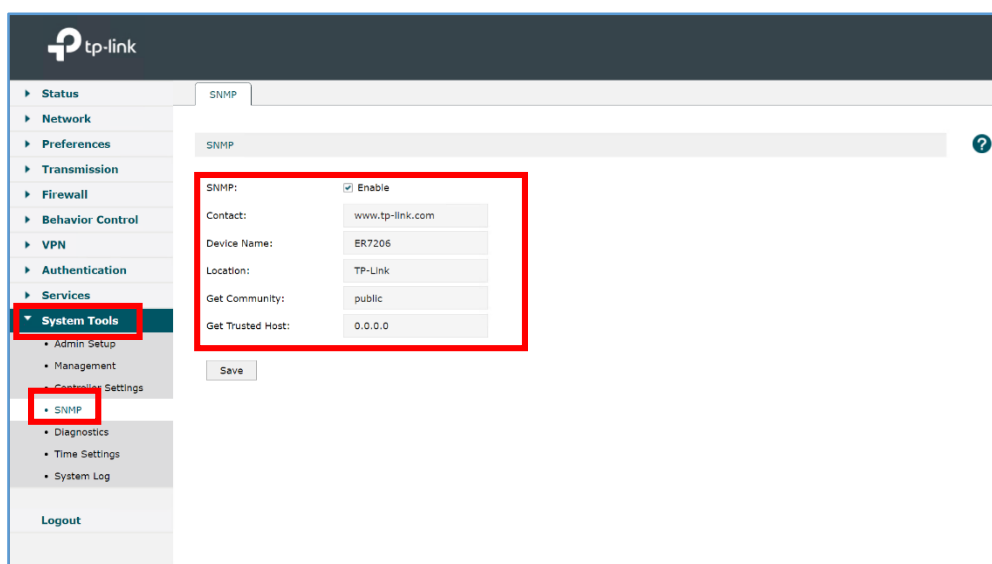


図 1 TL-ER7206 の Web GUI 画面

以上で TL-ER7206 で SNMP を有効化設定が完了しました。

3.2 PRTG での設定

3.2.1 デバイス(監視対象)として TL-ER7206 を追加

PRTG は監視対象機器をデバイス(監視対象)として追加して監視を行います。TL-ER7206 の管

理 IP アドレスを PRTG のデバイスとして追加します。

PRTG の Web GUI で次の操作を行います。

- ・ 「+」アイコン | [デバイスの追加]をクリック
- ・ デバイスを登録する場所を選択して[OK]をクリック

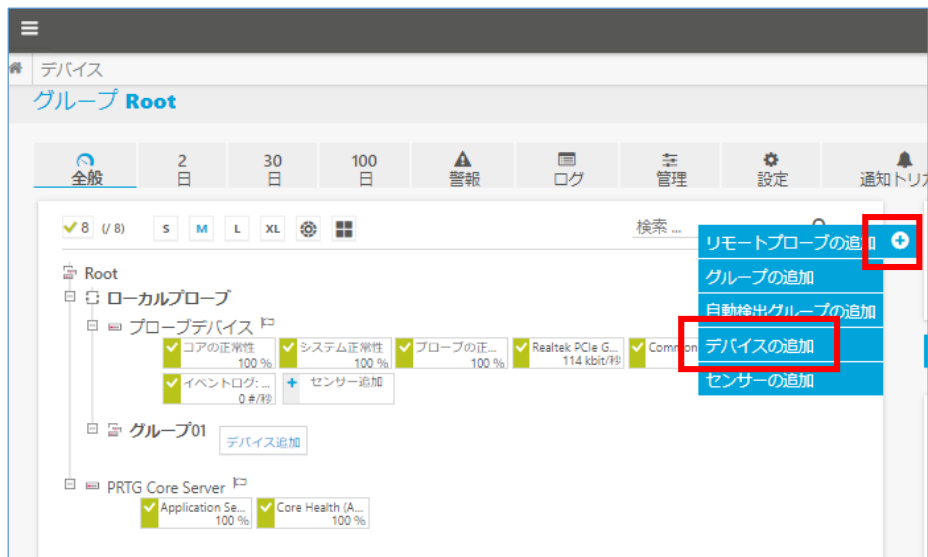


図 2 PRTG Web GUI デバイスツリー画面

- ・ 「新規デバイスの追加」画面で以下を入力して[OK]をクリック

デバイス名:<任意のデバイス名>

IPV4 アドレス/DNS 名:<の管理 IP アドレス>



図 3 新規デバイスの追加画面

デバイス(監視対象)として TL-ER7206 が追加されました。



図 4 デバイスツリー画面

3.2.2 「SNMP デバイスの資格情報」の設定

TL-ER7206 と SNMP で通信するために「SNMP デバイスの資格情報」を設定します。「SNMP デバイスの資格情報」の設定はデフォルトでは root オブジェクトの設定を継承します。資格情報の継承については簡易マニュアルをご参照ください。

本資料では「SNMP デバイスの資格情報」を root オブジェクトから継承せず、デバイスで個別に設定します。PRTG の Web GUI で次の操作を行います。

※すべてのオブジェクトはデフォルトで root オブジェクトの設定を継承します。root オブジェクトで以下の設定を行うことも可能です。

- ・ 追加したデバイスをクリック
- ・ [設定]をクリックして設定画面に移動
- ・ 「SNMP デバイスの資格情報」のチェックボックスを外す
各設定を「TL-ER7206 の SNMP を有効化」で設定した SNMP 設定と一致させます。

SNMP バージョン: SNMP v2c (推奨) (チェックする)

コミュニティ文字列: public (デフォルト設定)

SNMP ポート: 161 (デフォルト設定)

タイムアウト (秒): 5

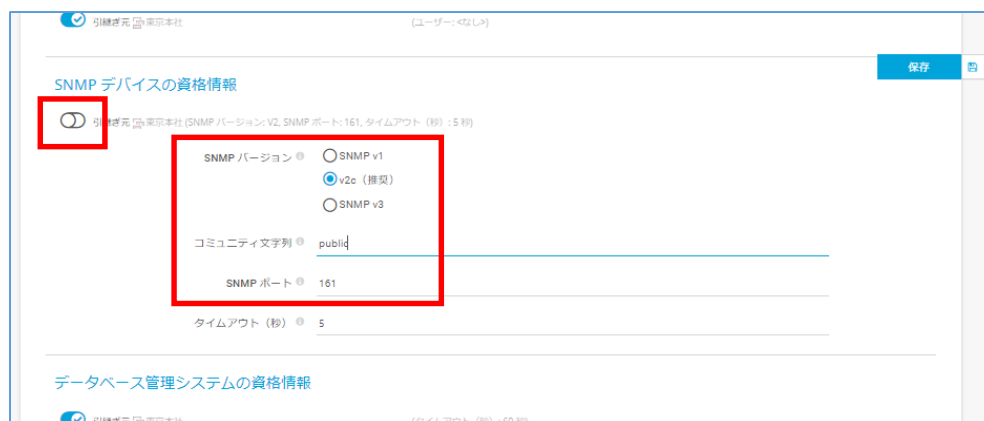


図 5 デバイスの設定画面

[保存]をクリック

SNMP で通信する設定ができました。

3.2.3 センサー(定義済み監視監視項目)の自動検出

PRTG はセンサー(定義済み監視項目)をデバイスに追加して監視を行います。自動検出機能で適切なセンサーを自動追加できます。PRTG の Web GUI で次の操作を行います。

- ・ デバイスの[自動検出を実行する]をクリック
※他のセンサー追加済みの場合はデバイスの設定から実行

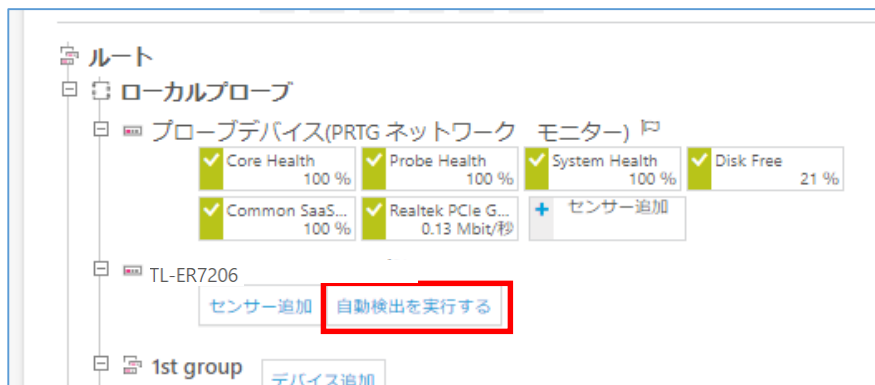


図 8 デバイスツリー画面

しばらくして、自動検出が完了するとデバイスにセンサーが追加されます。

※追加されるセンサーは機器構成や設定、環境によって違う場合があります。

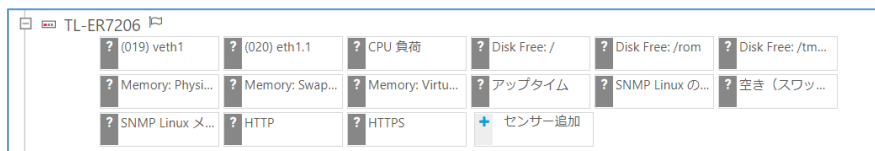


図 9 センサーが追加された画面

3.2.4 自動検出で追加されたセンサー例

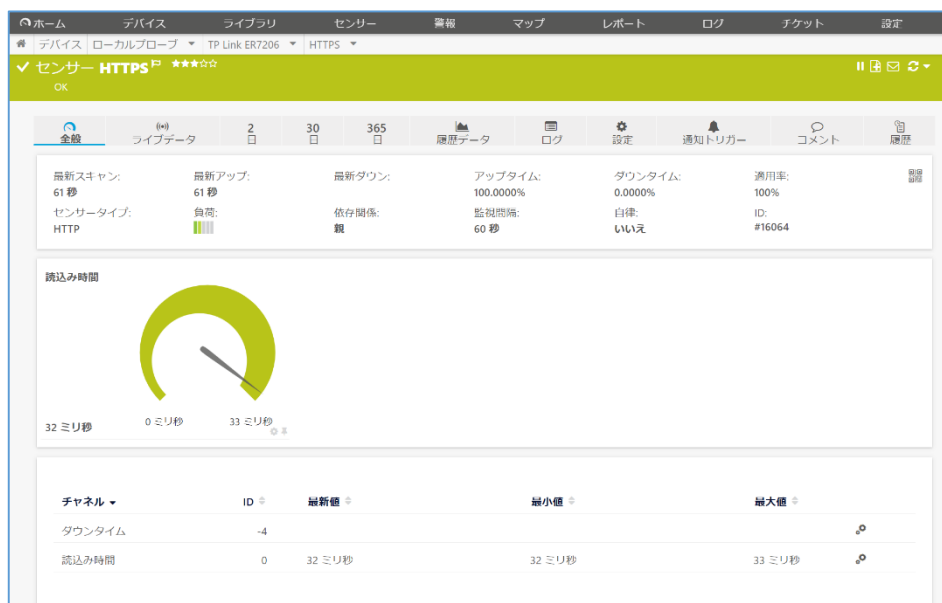
自動検出で追加されたセンサーが監視する項目とプロトコル概要は次の通りです。

- ・ Ping 死活監視:ICMP
- ・ リソース監視(CPU、メモリ、ディスク):SNMP
- ・ トラフィック流量監視:SNMP
- ・ 稼働時間監視:SNMP
- ・ HTTP 監視(Web ページ監視):HTTPS

※監視できるコンポーネントは機器構成に依存します。

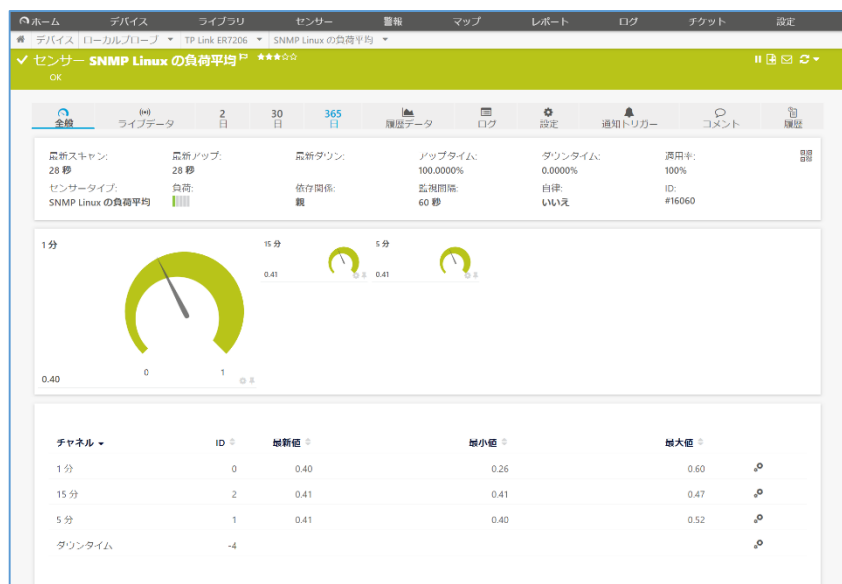
HTTPS センサー

Web ページ(Web GUI)監視

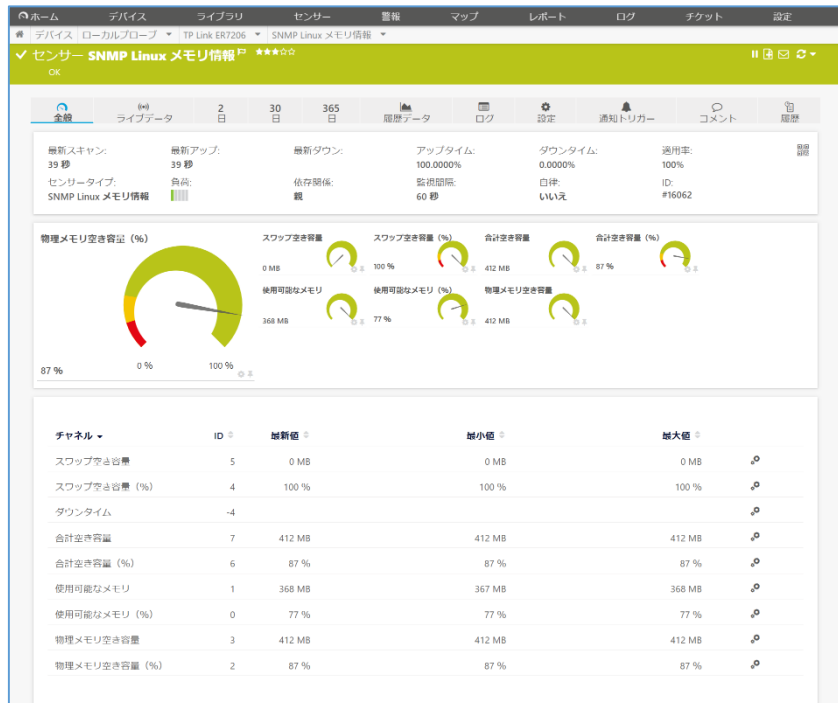


SNMP Linux の負荷平均センサー

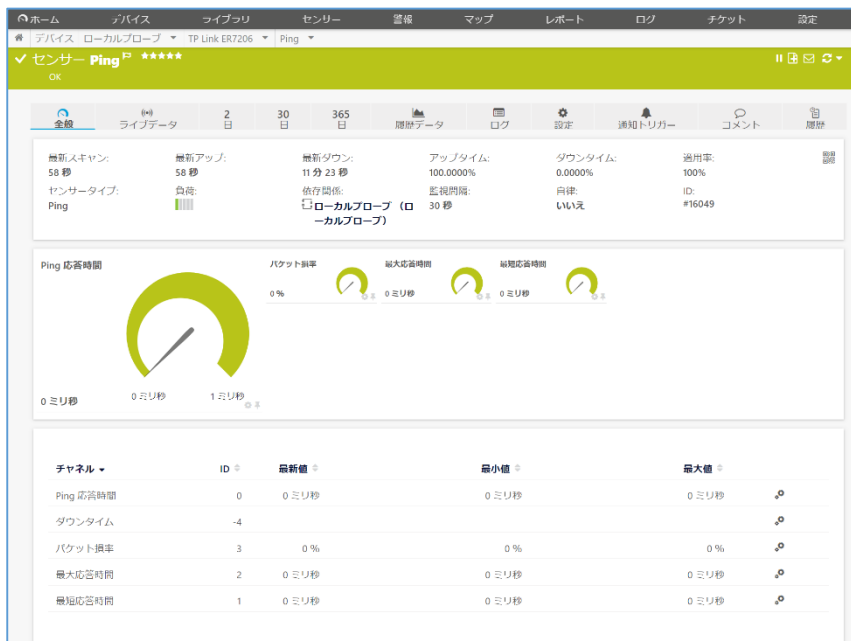
負荷監視



SNMP Linux のメモリ情報センサー メモリ使用状況監視

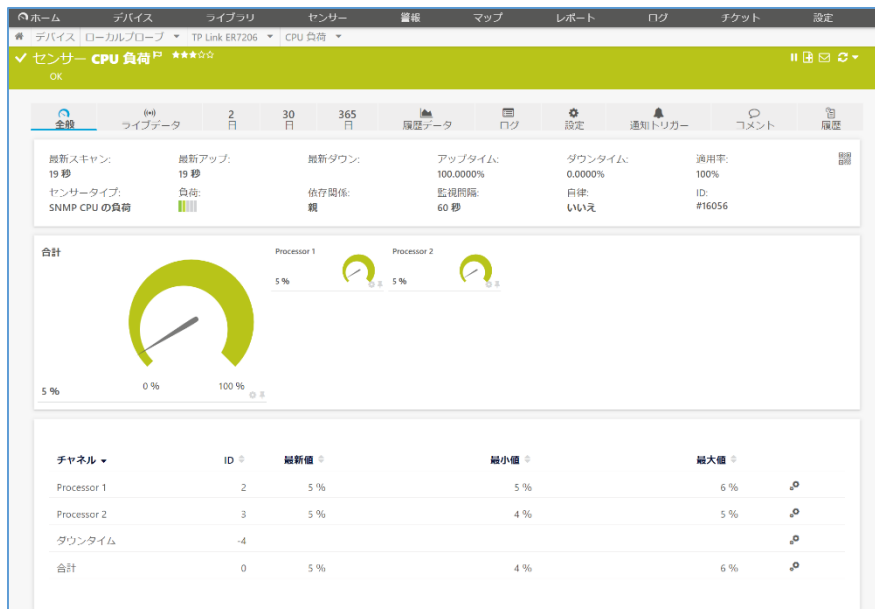


Ping センサー Ping 死活監視



SNMP CPU の負荷センサー

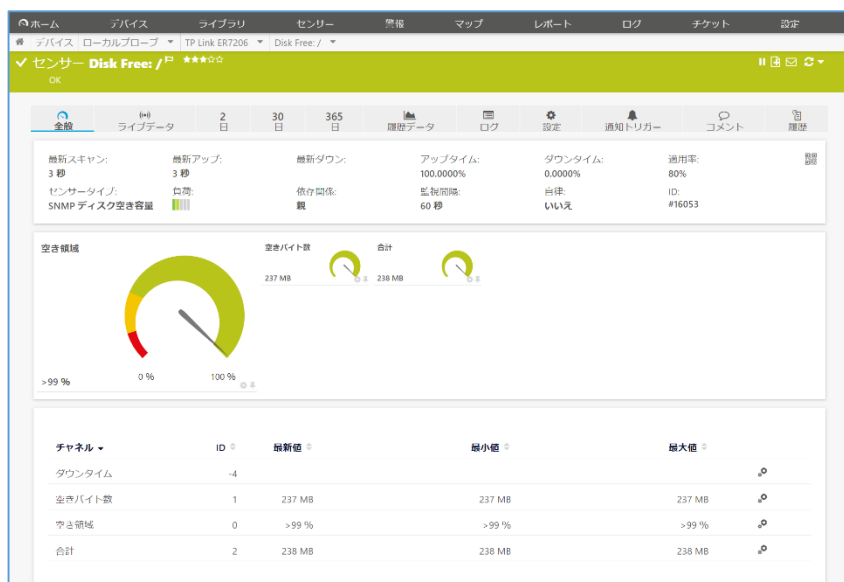
CPU 負荷監視



SNMP ディスク空き容量センサー

ディスク空き容量監視

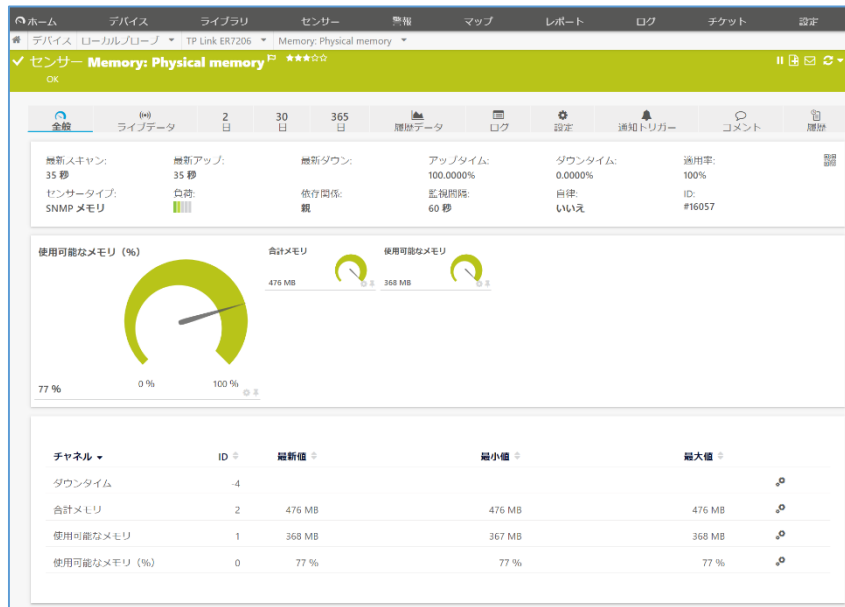
※ディレクトリごとに1センサー



SNMP メモリセンサー

メモリ空き容量監視

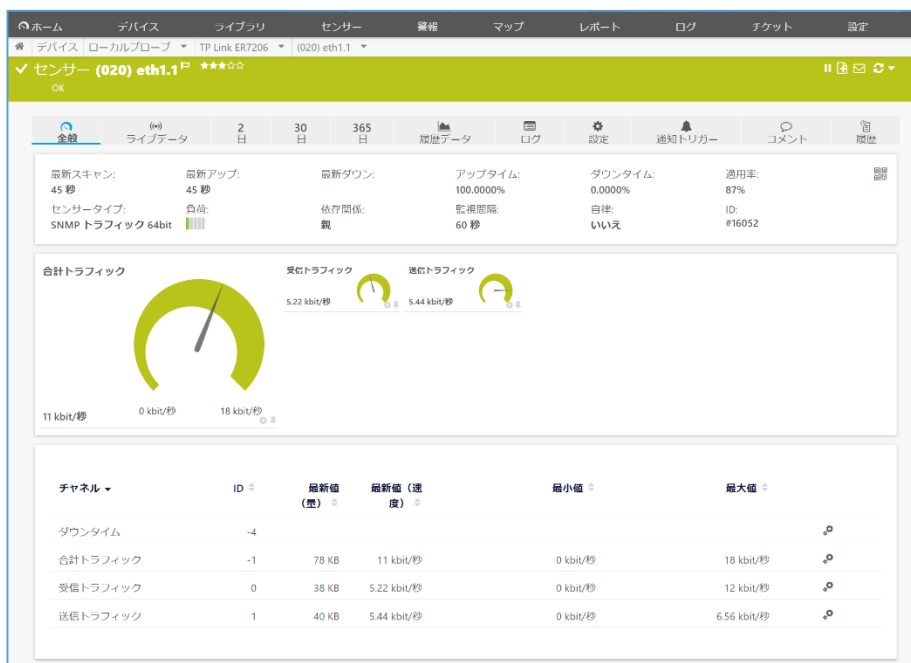
※物理、仮想、スワップメモリごとに1センサー



SNMP トラフィックセンサー

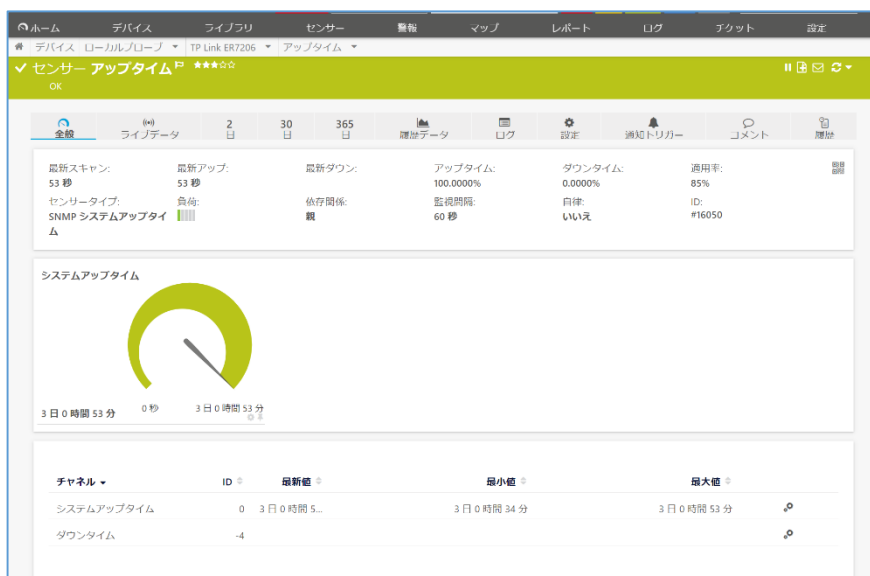
ポートごとのトラフィック量監視

※ポートごとに1センサー。認識するポートは機器の MIB に依存



SNMP システムアップタイムセンサー

稼働時間監視



4 まとめ

PRTG でティーピーリンク TL-ER7206 の Ping 死活、各種リソース、トラフィック流量、稼働時間、HTTP 監視ができました。監視のためのセンサーは自動検出で自動追加することができました。

5 免責事項・使用限定事項

ジュピターテクノロジー株式会社(以下当社と略記します)が作成した本ドキュメントに関する免責事項および本ドキュメント使用に関する限定事項は以下の通りです。

- ・ **本ドキュメントに関する免責事項**

本ドキュメントは作成時点においてメーカーより提供された情報および当社での検証結果により作成されたものですが、当社は本ドキュメントの内容に関していかなる保証をするものではありません。万一、内容についての誤りおよび内容に基づいて被った損害が発生した場合でも一切責任を負いかねます。本ドキュメントの内容によりなされた判断による行為で発生したいかなる損害に対しても当社は責任を負いません。

- ・ **本ドキュメント使用に関する限定事項**

別に定める場合を除いて、本ドキュメントの取り扱いは当社より提供を受けたお客様による私的かつ非営利目的での使用に限定されます。お客様は、本ドキュメントについて、変更、コピー、頒布、送信、展示、上映、複製、公開、再許諾、二次的著作物作成、譲渡、販売のいずれも行うことができません。

ジュピターテクノロジー株式会社 (Jupiter Technology Corp.)

住所： 〒183-0023 東京都府中市宮町 2-15-13 第 15 三ツ木ビル 8F
URL： <https://www.jtc-i.co.jp/>
電話番号： 042-358-1250
FAX 番号： 042-360-6221
お問い合わせ先： <https://www.jtc-i.co.jp/contact/index.html>

日本語ユーザマニュアル発行日 2022 年 5 月 19 日
ジュピターテクノロジー株式会社 技術グループ

PRTG ティーピーリンク TL-ER7206 監視手順書

Rev. 1.0

12